

クリエイティブ・クエスチョン ワークショップ

良い問いを立てて、新しい発見や、問題解決をしよう

ワークシヨップの流れ

- (1) イントロダクション
- (2) Good & New & 予想外
- (3) なんてだろうゲーム
- (4) 子供の問い
- (5) 哲学者の問い
- (6) 芸術家の問い
- (7) デザイナーの問い
- (8) イノベーターの問い
- (9) まとめ





昨日から
今日を懸命に生き
明日への希望を持って

大切なことは問うことを
やめないことだ



コンサルティングは、
常に問いしかしなかった
問いによって考えさせ
人を成長させた

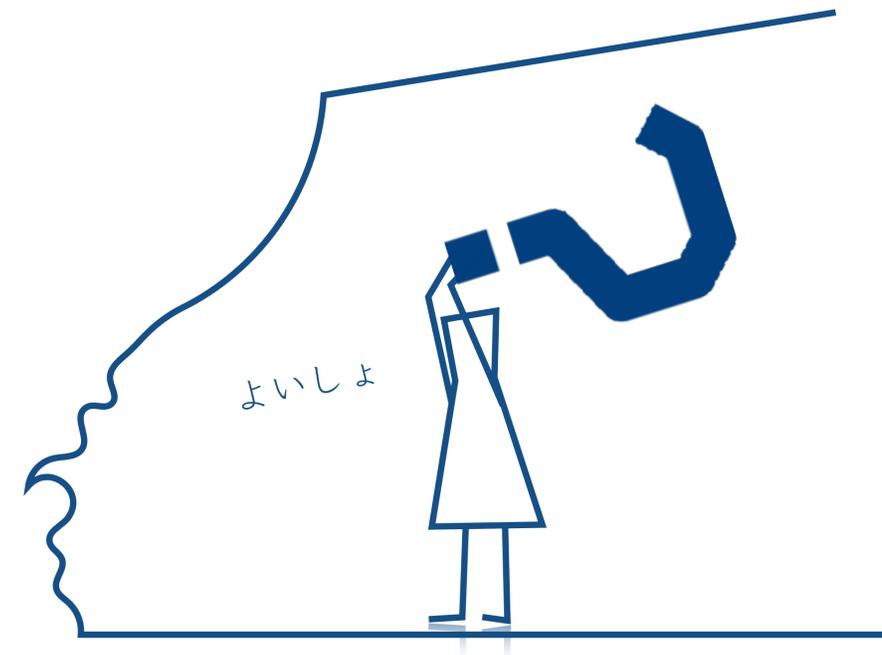
良い問いを生み出すために

良い質問をする人は、自らの無知によく気づき、
自分が無知であることを苦にしない。
知ったつもりにならずに、知らぬを知らぬとする。

問いとは、懐中電灯である。その懐中電灯を使いながら、
自分の広大な無知のフィールドを常に探求し続けるのである。

問い駆動型探求

- 問いをたくさん作る
- 問いを整理、変換する
- 問いの答えを探るように探求する



振り返ろう

問いを作ったBefore & After は？

問い駆動型探求の効果は？

どのプロセスが大切ですか？

どんな問いが役立ったか？

「良い問い」は、難しいか？



哲学者の問い

- 分かる、解る、理解するとは「何か？」
- それであるものと、それでないものの境界線を知ること



哲学者の問い

_____ ではない

_____ と _____ でないを分ける境界線

このギリギリを狙おう

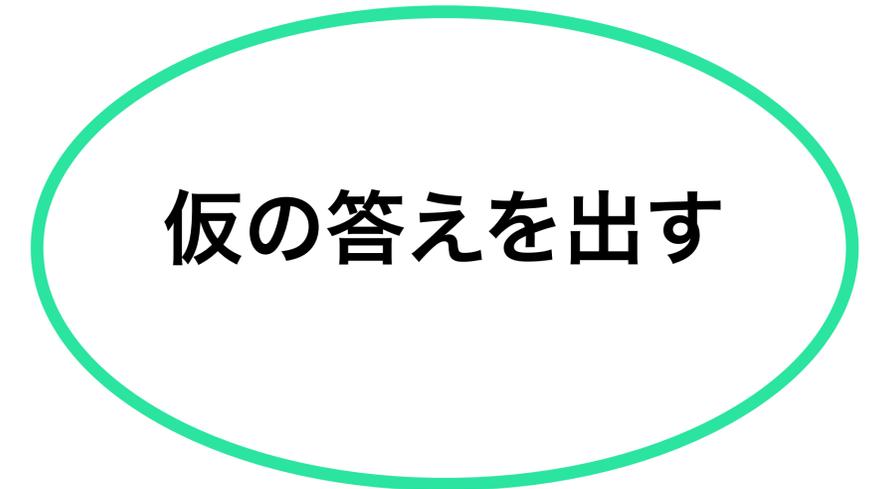
は、_____ ?
それとも _____ でない?

どんな問いになればいいか？
さらに深めるには？



まだ発見していないことを見
つけ出しそうな問いは？

問いを洗練させる
ステップ



新しい発見はあるか？
新しい視点が得られたか？



問いを探求して、問い
について仮の答えを出す

問い 振り返り

良かった点   次やるなら

改善点   予期しなかったこと

振り返り

 先の学びは生かされましたか？

 どうすれば、答えを出しやすいか？

 実生活でどう役に立つか？

芸術家の問い

抽象的、A B以外もたくさん入る

Aのことについて
リストアップ

なるべく下に貼れる
アイデアを考える

Bのことについて
リストアップ

A:

B:

具体的、A B しか入らない

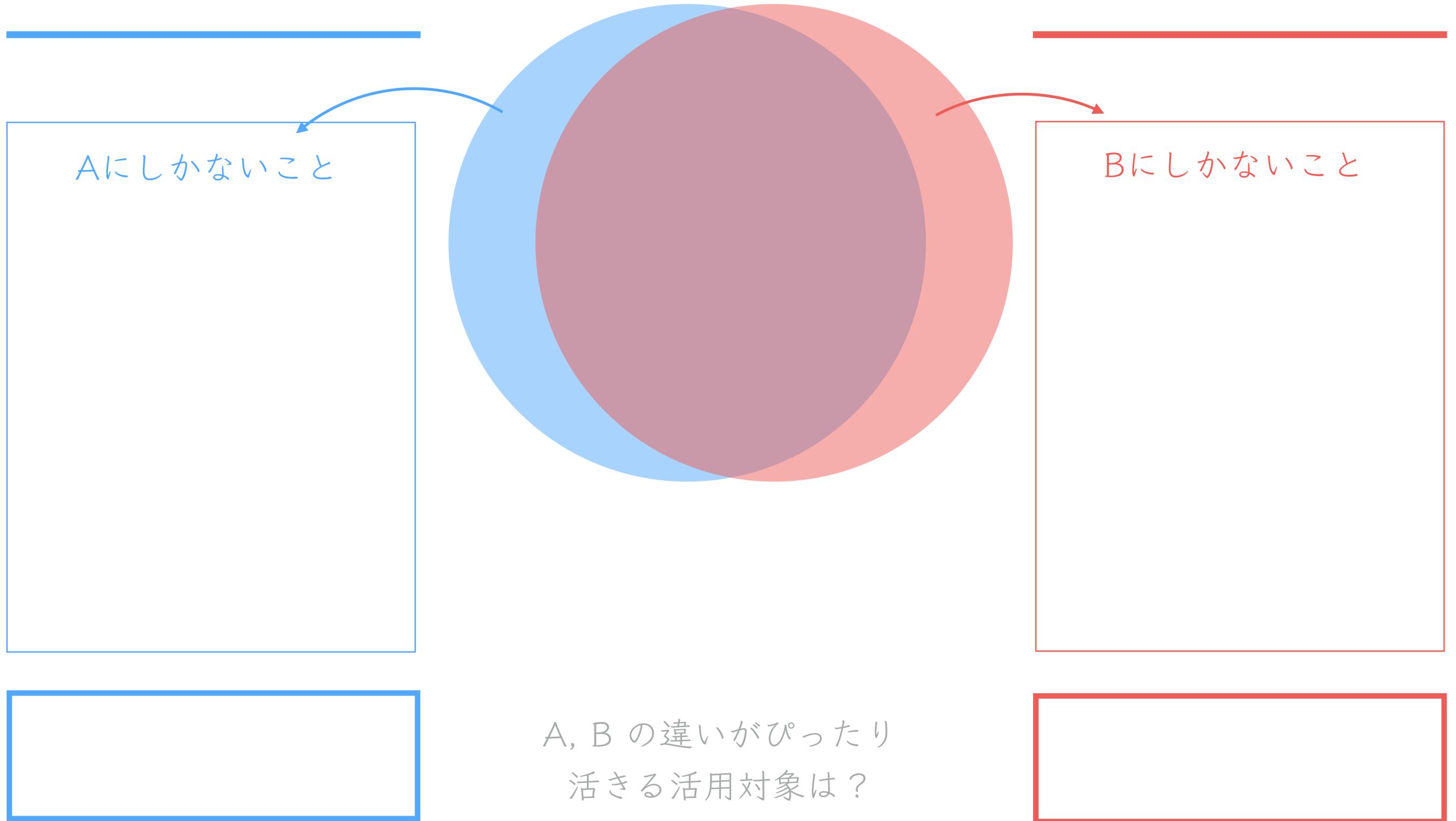
問いのヒント

様々な視点から見てみよう

- ・ 歴史の観点から見たらどうか？
- ・ 経済の観点から見たらどうか？
- ・ 文化の観点から見たらどうか？
- ・ 使う人の観点から見たらどうか？

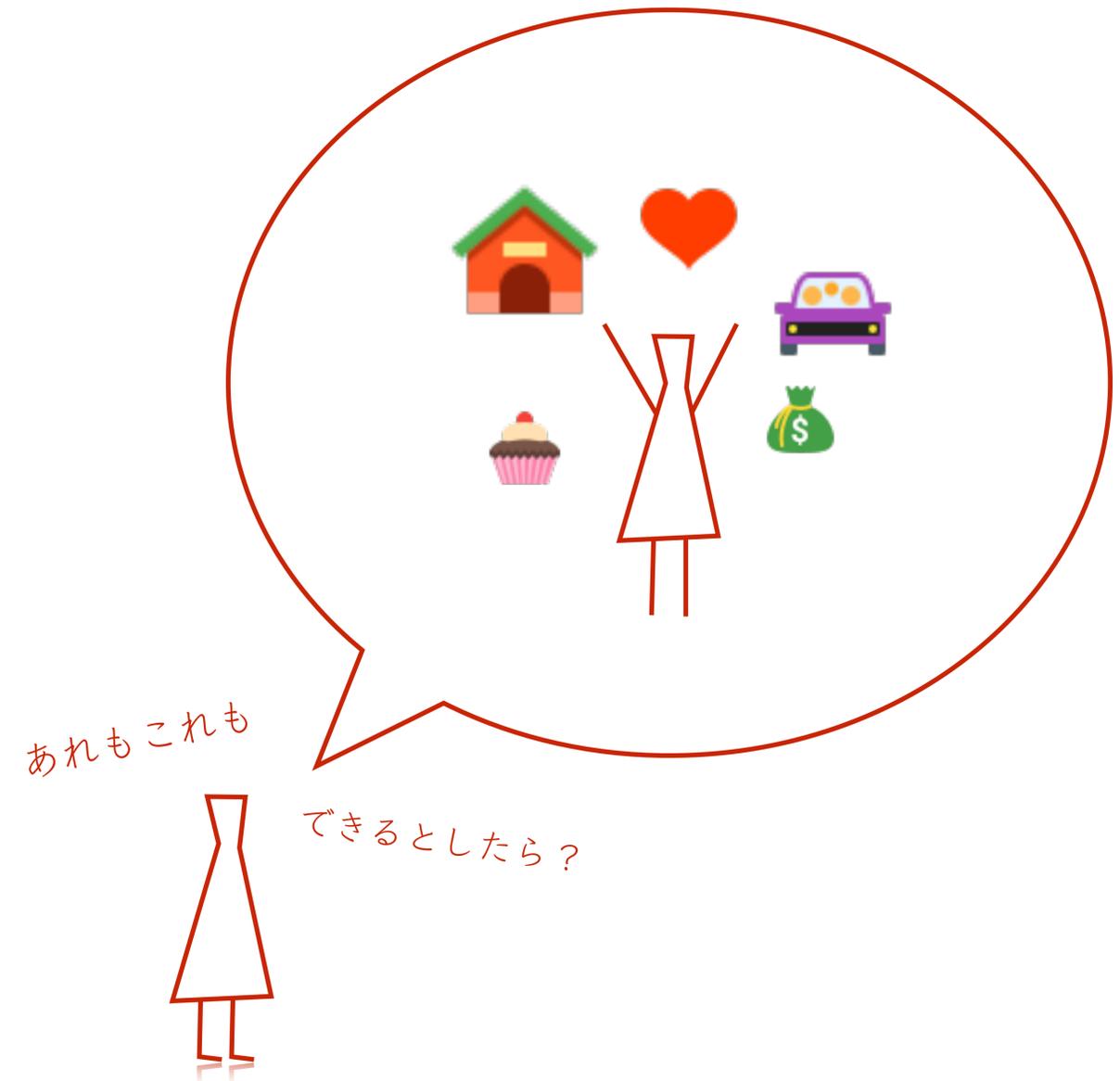
他にはどんな視点がある？

デザイナーの問い



都合の良い質問

- 都合のいい状況があるとしたら、それは何？
- 答えがあるはずと仮定して、問いを作る
- 問いを作りながら答えを出す。発想の転換をする
- コツ：そんなのない！ぐらい考えてみよう



作ってみよう



1 解決したい課題をあげる

『明日解決できるとしたら、、』
『ついでに解決できるとしたら、』



2 都合のいい質問を
いくつも考える

『今日解決できるとしたら、、』
『ついでに10個くらい問題を
解決できるとしたら、』



3 都合の良さをパワーアップ
する